

2026年度滋賀県民総スポーツの祭典 滋賀県スポーツレクリエーション大会の部

兼 関西マスターズスポーツフェスティバル 2026

バウンドテニス大会開催要項（案）

1. 主旨

本大会を通じて子供から高齢者まで幅広く県民に健康・体力づくりと交流の場を提供するとともに、バウンドテニスの一層の普及・定着を図り、身近に親しむことのできるスポーツ活動の振興に資する。

2. 主 催 滋賀県 大津市 大津市教育委員会
 (公財) 滋賀県スポーツ協会 滋賀県レクリエーション協会

3. 後 援 滋賀県スポーツ推進委員協議会

4. 主 管 滋賀県バウンドテニス協会

5. 協 賛 京滋ヤクルト販売株式会社
 大津市バウンドテニス協会
 甲賀市バウンドテニス協会

6. 期 日 2026年 6月21日(日) 開催日は現時点での予定

受 付 8:45～ 9:10

開会式 9:10～ 9:30

競 技 9:30～16:00

閉会式 16:00～16:30

7. 会 場 大津市瀬田公園体育館（大津市一里山 6-9-1 Tel 077-545-2811）

8. 種 目

【午前の部】

7-1-1. チーム対抗BTラリー戦（年齢フリー、男女各3人）
（基本クラブ単位としますが、そろわない人は主催者にて組合せます）

7-1-2. お楽しみダブルス戦
（1チーム6名でのチーム戦を行う。男女各3人、但し男子の代わりを女子が出場
するとは可能とする。）

【午後の部】

7-2. 交流の部

7-2-1. バラエティダブルス（年齢、性別共にフリー、事務局にて組合せ）

参加者の状況により、午前と午後の順番を入れ替える場合あり

9. 参加資格

- 9-1. 滋賀県内在住者で 滋賀県バウンドテニスクラブ所属者
(午前・午後どちらかだけの参加も可。)

10. 競技規則

試合は日本バウンドテニス協会競技規則によるほか、以下の大会競技規定による。審判は原則として相互審判とする。

10-1. 午前の部

(1) チーム対抗B Tラリー戦

- ① 1 チーム男女各 3 名の計 6 人で 1 分間のラリーを 3 回行い、総得点（累計ラリー数）で順位を決める。男子に代わり女子の参加は可とする。
- ② 総得点が同点の場合は、3 ゲーム目の得点が多いチームを上位とし、それも同点の場合は 2 ゲーム目の得点が多いチームを上位とする。3 ゲームとも同点の場合は抽籤で順位を決める。
- ③ 選手はチーム毎に 1 ～ 6 のゼッケンを胸と背中につけること。
ゼッケンは主管者で準備する。

(2) おたのしみダブルス戦

- ① チーム合計の得失差で勝敗を決める。
- ② リーグ戦方式で行う。但し、参加人数によっては別の方式で行うこともある。
- ④ 試合はすべて 7 ゲームマッチとする。フルゲーム目はタイブレークで行う。
但し、試合の進行状況によっては変更することがある。
- ⑤ ジュースは 4-4 の場合 5 ポイント先取で勝ちとする。
- ⑥ リーグ戦に於いて次の順で順位を決める。
イ) 当該対戦勝敗数 ロ) 得失ゲーム数差 ロ) 同数の場合はジャンケン

10-2. 午後の部

9-2-1. バラエティ-ダブルス

- (1) 事務局による抽選組合せでダブルス戦を行う。（性別、年齢他全てフリー）
- (2) 試合方式その他原則として競技の部に準じて行う。

11. 表彰

(1) チーム対抗B Tラリー戦

- ① 優勝チームに副賞を授与する。
- ② 特別賞を設け、大会役員より副賞を授与する。

(2) おたのしみダブルス戦

- ① 優勝グループに賞状と副賞を授与する。
- ② 特別賞を設け、大会役員より副賞を授与する。

(3) バラエティーダブルス戦

- ① 各コートの1位者2名に賞状と副賞を授与する。

(4) ジュニアの部

- ① 1位～3位に賞状と副賞を授与する。
- ② 「敢闘賞」を設け、大会役員より賞状と副賞を授与する。

1 2. 参加料 (申し込み時払込み、対応不可能な場合当日受付にて支払い可とします)

一人 1, 000円、 ジュニア500円

エントリー後の参加費の返金は出来ませんのでご了承をお願いします。

1 3. 申込方法

別紙様式の参加申込書に必要事項を記入の上、申込先迄郵送、LINE または FAX で申し込む。

(個人単独での申し込みも可。)

1 4. 申込期限 2026年 5月24(日)) まで

1 5. 申込先 滋賀県バウンドテニス協会事務局 事務局長 吉川 亜矢子

TEL 090-6678-2083 又はライン

FAX で申込みされる場合は 京滋ヤクルト販売(株) 大津営業所内

事務局 Fax : 077-527-8963 お願いします

1 6. その他

1 6 - 1. 体育館用シューズを必ず着用すること

1 6 - 2. 競技中に於ける負傷等については、応急の処置とスポーツ障害保険の範囲内で対応するが、その後については責任を負わない。